

兼重暗香

～矢原出身の女性画家 没後80年～

その1

山口ゆかりの女性で、明治から昭和にかけて「身を中央画壇に置き、活動した日本画家」がいます。その女性は兼重暗香です。兼重暗香は明治5（1872）年に、吉敷郡矢原村（山口市大歳矢原）に生まれた人で、来年令和8（2026）年は、没後80年にあたります。今回、岡本麻美氏の「兼重暗香研究序ーその再評価に向けて」に基づいて「郷土の画家・兼重暗香」の歩んだ道について書いてみました。

日本画の道 ～幼少から20代前半（明治期前半）～

暗香の本名は梅子といい、5歳のとき、不慮の事故で脊椎骨を痛み、小児性脊髄神経麻痺を患い、以降歩行の自由を失います。父は藩士・兼重慎一で、幕末に長州の藩政改革を担った周布政之助を補佐し、藩論が倒幕に統一された後は、大村益次郎とともに兵制改革に務めた人です。母は山口の河北家（後河原）から嫁いできたツルです。慎一は、藩庁が山口に移った時に、矢原の石州街道（市道勝井中矢原線）沿いの山田酒場（林勇藏の生家）の南隣に引っ越します。梅子が生まれた明治5（1872）年は、慎一が舟木（宇部）の区長になった年です。慎一は区長を8年勤め、明治13（1880）年に退いた後、山口の毛利氏の野田邸（現在菜香亭）に移ります。この年から慎一は、藩史編纂事業に関わっていきます。そして、明治16（1883）年、梅子12歳^{（註1）}の時に転機が訪れます。父慎一が藩史編纂のため上京することになり、梅子も一緒に上京します。慎一は東京港区芝にある毛利氏高輪邸に住み、良医を求めて奔走しますが、梅子の知覚が回復することはありませんでした。梅子が15歳の時に、経済的にも自立した女性を目指し、付近の頌栄女学校英語科に入学し、手押し車で通います。そして17歳の時、叔父で洋画家の河北道介^{（註2）}に洋画を習いはじめます。この頃、初めて梅を描き、梅の絵を見た慎一が「夜の暗闇にふと漂う梅の香りを愛でる」と添えた題詩から「暗香」をとって雅号とします。しかし、屋外での写生が困難なこともあり、フランス留学した叔父の河北道介の後に習っていた本田錦吉郎^{（註3）}の勧めもあり、19歳の頃に日本画に転向して、女性南画家の野口小蘋に入門します。小蘋は明治から大正期に活躍した南画家・日本画家で女性初の帝室技芸員となり、明治大正期の女性画家を代表をする人でした。暗香24歳の時には、小蘋は日本美術協会秋季美術展覧会（協会）で最高賞を受賞していて、暗香にとって野口小蘋を師にもったことは幸運であったと云われています。

苦難の時期 ～20代後半から30代前半（明治30年代）～

明治30（1897）年、暗香が26歳の時に、父が81歳で亡くなりますが、初めて協会に日本画を出品し入選します。暗香は経済的な苦勞を強いられながら、家庭教師や手内職をして自活の道に励む中、長兄が事業に失敗し、甥や姪を養うこととなります。こうした不幸が続きますが、協会に毎年出品し、日本画での入選・入賞（父の死後翌年から9年連億）が続きます。また、日露戦争後に洋画で、広瀬中佐^{（註4）}以下戦死者40名の肖像画を描き、その後も肖像画^{（註3）}を生活のために制作しています。つづく。（註1）数え年以降も数え年。（註2）元萩藩士 明治時代の洋画家。（註3）元広島藩士 明治時代の洋画家・風刺家。（註4）広瀬武夫。日本の海軍軍人 柔道家 戦前は軍人として神格化された人。暗香は、洋画では肖像画を得意とし、その作品はしばしば宮内省の買い上げられる。

兼重暗香（明治維新と大歳より）

参考資料 山口県地方史研究第120号（2018年11月）「兼重暗香研究序ーその再評価に向けて」 岡本麻美。「山口郷土読本」（山口市教育委員会）。「郷土大歳のあゆみ」（文責：大歳史談会 白上茂樹）



交流センターだより

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウントNo.197
令和7年
8月号

人口 13,982

世帯数 7,100

(令和7年7月1日現在)

発行 大歳地域交流センター

電話（地域窓口）922-4035 （行政窓口）922-2461

開館時間 8時30分～17時15分

メール ohtoshi@city.yamaguchi.lg.jp

分館対抗卓球大会を開催しました

7月6日（日）大歳小学校体育館で開催した第48回分館対抗卓球大会の結果を報告します。

優勝 和田
準優勝 中矢原A
3位 岩富
B級優勝 上矢原A



和田分館のみなさん

大歳JVC・大会報告

6月15日周南市で開催されたJVA第45回全日本バレーボール小学生大会山口県決勝大会にて「大歳JVC」が混合の部3位入賞。中国大会出場を決めました!!

～インターネット回答でかんたん便利に！～
国勢調査を実施します

10月1日に、令和7年国勢調査を全国一斉に行います。国勢調査は、5年に1度実施される日本に住むすべての人と世帯を対象に行われる調査です。

調査結果は、国及び地方公共団体の各種行政施策等の基礎資料となる他、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策や、企業等の需要予測、学術研究等、民間でも活用される大切なデータとなります。皆様のご協力をよろしくお願いします。

期 日 10月1日
回答期間 9月20日～10月8日
対 象 令和7年10月1日現在、日本国内に住んでいるすべての人（外国人を含む）
回答方法 インターネット、郵送提出、調査員に提出のいずれかで回答

●インターネット回答が便利です

ご利用には、調査員が配布する調査書類から二次元コードを読み込んでいただくと、パスワード等の入力なしで、すぐ回答いただけます。

お問い合わせ
山口市役所デジタル推進課 統計調査担当
電話：083-934-2748
Mail: digital@city.yamaguchi.lg.jp

国勢調査2025
キャンペーンサイト

若い世代のヘルスチェック

要申込

忙しい日々の中で少し時間をとって、自分自身のからだを振り返ってみませんか？

【内容】 【1回目】健康診査（身体測定、血圧測定、血液検査、尿検査、腹囲測定、医師の診察）

【2回目】保健師や栄養士による結果説明・個別相談、健康運動指導士による運動の個別相談

【対象】18歳～39歳（昭和61年4月2日～平成19年4月1日生）の市民で血液検査を含む健診受診機会がない方（妊婦や職場等で健診受診が可能な方は除く）

【託児】お子様連れの方は、保育士等が会場でサポートいたします。（要申込）

【料金】500円

【申込、日時、会場など】 電話または右の二次元コードから
詳しくは「**山口市 若い世代のヘルスチェック**」で検索



場所 問合先	小郡保健福祉センター 083-973-8147	山口市保健センター 083-921-2666
【1回目】 健康診査	9/17（水）、18（木） 9時～11時	9/25（木）、26（金）、29（月） 9時～11時
【2回目】 結果説明会	10/29（水）、30（木） 9時～11時30分	11/4（火）～7（金） 9時～11時30分

筋力アップ大作戦！

要申込

働き盛りの今から筋力アップに取り組みましょう！これからも若々しく、毎日をアクティブに過ごすために、日常生活でできる筋力アップの秘訣を学びませんか？

【日時】9月9日（火）10時～11時45分
（受付開始9時30分）

【場所】山口市保健センター1階 集団検診室
（山口市糸米二丁目6番6号）

【対象】市民30名程度（要申込、先着順）

【参加費】50円（保険料を含む）

【持ち物】運動できる服装、フェイスタオル、水分補給用の飲み物、筆記用具

【申込み】9月8日（月）までに山口市保健センターに電話かFAX
または右の二次元コードからお申込みください。

【問合先】山口市保健センター 083-921-2666 FAX 083-921-2672

【内容】

- ・健康チェック：体組成測定
- ・「知って得する筋力アップの秘訣」
～運動編～ 講師：理学療法士 水津直樹氏
～食事編～ 講師：市管理栄養士



鴻南地域包括支援センターからのお知らせ 山口市保健センターと共催

『アクティブシニア生活体力チェック』

無料

申込不要

毎日暑い日が続きますが、閉じこもりになっていませんか？この機会にご自身のからだを見直してみませんか？

【日時】8月21日（木）10時～11時 【場所】大歳地域交流センター講堂

山口市保健センター	・血管年齢 ・体組成測定 ・栄養相談
鴻南包括支援センター	・体力測定（握力、片足立ちなど） ・百歳体操紹介 ・フレイルチェック



【問合先】山口市鴻南地域包括支援センター 083-934-3333

子そだてマナビィ 受講生募集

子どもに伝えたい「性」と「生」

要申込

無料

家庭で性教育をどのように伝えていけばよいのでしょうか。

家庭内で、「命の大切さ」や「生きることの素晴らしさ」、「自分も相手も大切にする気持ち」を子どもに伝えることを目指して、発達段階に応じた「身体と心の変化」について学びます。

【日時】9月24日（水）10時～12時

【場所】湯田地域交流センター

【講師】申神 正子（さがみまさこ）氏
（山口赤十字病院 第二産婦人科部長）

【対象】年長～中学生の保護者 30人程度

【持ち物】筆記用具

【申込期限】9月10日（水）までに

【申込方法】電話または右の二次元コードからお申込みください。
抽選結果は当落どちらでもご連絡いたします。申込締切後、
9月12日までに結果が届けなければ、お問合せください。

【問合せ】市教育委員会 社会教育課 083-934-2865

性的なトラブルについても、大人が学び、
子どもに伝えていきましょう。



子そだてマナビィ

検索



子そだてマナビィ申込



家庭教育応援サイト

「みんなの広場」

申込不要

暑い暑い8月！交流センターでクールシェア！楽しく過ご
しましょう！どなたでも参加OK！お気軽にどうぞ♪

【日時】8月16日（土）
13時30分～15時

【場所】大歳地域交流センター2階講堂

【内容】・山口弁ラジオ体操
・ビデオ鑑賞

お好きなメニューのかき氷を作って食べましょう！

【参加費】100円

【問合先】大窪：080-2904-8193



食中毒予防研修会

要申込

食中毒は主に細菌やウイルスが食べ物を通じて体
内に入ることで起こります。予防には手洗いが重
要です。地区民を対象に食中毒予防の講演会を開
催しますので、ぜひご参加ください。

無料

【日時】9月11日（木）10時～

【場所】大歳地域交流センター講堂

【講師】山口健康福祉センター食品衛生班
古賀 大也 氏

【申込先】大歳地区社協
083-920-1700



【大歳地区8月の行事予定】

1日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）

2日（土）おとし夏まつり（18:00～）

4日（月）燃やせないごみの日

6日（水）母推さんの育児相談（10:00～）

15日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）

16日（土）みんなの広場（13:30～15:00）

18日（月）金属・小型家電製品ごみの日

20日（水）びん・缶ごみの日

25日（月）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）

28日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

29日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）

※木曜日はプラ容器包装分別収集

維新みらいふスタジアムヘレノファ山口の応援に行こう 8月11日(祝)19時～VS甲府、8月16日(土)19時～VS仙台